

第36回 歴史地震研究会 総会資料

日時：2019年9月22日（日）10:45～11:45

場所：徳島大学地域連携プラザ地域連携大ホール

総 会 次 第

開会

定足数確認、会長挨拶

議長選出

第一号議案 2018年度事業報告および決算報告

幹事会から2018年度事業報告および決算報告を説明し、承認を求めます。

監査役から会計監査報告について説明があります。

第二号議案 会長選出

幹事会に届け出があった立候補者について説明します。会長の選出を求めます。

第三号議案 監査役選出

幹事会に届け出があった推薦について説明します。監査役の選出を求めます。

2019年度会長挨拶、2019年度役員指名

第四号議案 会則の改正

会費滞納者への対応、退会手続きなどに関し会則改正を提案し、承認を求めます。

第五号議案 2019年度事業計画および予算案

幹事会から2019年度事業計画および予算案を提案し、承認を求めます。

議長解任

閉会

第一号議案 2018年度事業報告および決算報告

1. 2018年度事業報告

2018年度（2018年9月～2019年7月）は、以下の事業を行った。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 歴史地震研究会（大分大会）の開催

以下の通り、第35回歴史地震研究会（大分大会）を開催した。

主催：歴史地震研究会

会場：J:COM ホルトホール大分（大分県大分市）

日程：2018年9月22日（土）～25日（火）

22日：公開講演会

23日：研究発表会・懇親会

24日：研究発表会・総会

25日：見学会（巡検）

参加者は会員71名、非会員20名、招待1名の計92名だった。発表数は口頭40件、ポスター18件。懇親会の参加者は60名、巡検参加者は40名だった。

公開講演会は、歴史と自然を学ぶ会に共催いただき、大分市および大分市教育委員会に後援いただいた。

② 共催・後援など

他の学協会が主催する以下の1件の行事を後援した。

「11月5日世界津波の日」記念シンポジウム

「必ず起きる南海トラフ巨大地震 大災害に備える防災意識」

開催日：2018年11月5日（月） 場所：コンパルホール（大分市）

主催：歴史と自然を学ぶ会 後援：歴史地震研究会を含む19団体

③ 歴史地震研究会（徳島大会）の開催準備

以下の第36回歴史地震研究会（徳島大会）の開催に向けて準備をした。

主催：歴史地震研究会

会場：徳島大学地域連携プラザ地域連携大ホール

日程：2019年9月21日（土）～23日（月・祝）

21日：研究会・公開講演会

22日：研究会・総会・懇親会

23日：研究会・巡検

研究発表会には発表申込みが57件あり口頭39件とポスター18件からなるプログラムを編成した。

(2) 会誌の刊行

2019年7月末に『歴史地震』第34号を発行した。論説9編、資料6編、報告4編、講演要旨48編、研究会記事1編を掲載し、総頁数は272ページであった。

発行部数は410部。発行時の会員（長期会費未納会員を除く）272名および無償送付先（大学・公立図書館等）124箇所を送付した。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、以下の活動を行った

① 歴史地震研究会ホームページ

新たに Flash を用いないホームページを立ち上げ、順次移行作業を進めている。

2018 年度中の主な更新内容は、『歴史地震』33 号（2018）の PDF 版、総会と幹事会議事録の掲載、第 36 回歴史地震研究会（徳島大会）の案内、歴史地震研究会が後援する行事のおしらせの掲載である。

② 問い合わせフォームの作成

研究会に関する外部への窓口として、問い合わせフォームを作成した。また「歴史地震」のバックナンバーの入手希望者向けにも同じく問い合わせフォームを作成し運用中である。

③ 大会の周知

大会への発表募集・会場等の案内や公開シンポジウムについて、日本地震学会・日本活断層学会・日本第四紀学会・日本地質学会・史学会・日本史研究会・地方史研究協議会等へニュースレター・メーリングリスト・ホームページ掲載および掲示を通して告知を行った。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰

功績賞授賞者 1 名（石橋克彦会員）を幹事会で決定し、2019 年 9 月 22 日（日）に授賞式を行う。

(5) その他

① 総会

2018 年 9 月 24 日（月）に総会が招集された。総会参加者は 56 名であった。総会議事録は、ホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』34 号に収録した。

② 幹事会

2018 年度は、以下の 5 回の幹事会を行い、歴史地震研究会の運営・事業について議論した。監査役には幹事会への出席を求め、適切な審議が行えるように努めた。幹事会の議事録をホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』34 号にも収録して会員に審議内容を伝えた。

2018 年 8 月 7 日（2018 年度第 1 回歴史地震研究会幹事会）

2018 年 9 月 12 日（2018 年度第 2 回歴史地震研究会幹事会）

2018 年 12 月 20 日（2018 年度第 3 回歴史地震研究会幹事会）

2019 年 4 月 18 日（2018 年度第 4 回歴史地震研究会幹事会）

2019 年 6 月 7 日（2018 年度第 5 回歴史地震研究会幹事会）

2. 2018 年度決算報告

2018 年度（2018 年 9 月～2019 年 7 月）の決算は次表のとおり。

歴史地震研究会 2018年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2018年度会費	1,240,000	856,000	▲ 384,000	4000円×214名
	2017年度以前会費	0	12,000	12,000	4000円×3名
	2019年度会費	0	76,000	76,000	4000円×19名
	2020年度会費	0	4,000	4,000	4000円×1名
	会誌口絵代	46,000	46,000	0	23000円×2ページ
	会誌・講演要旨バックナンバー代	0	28,850	28,850	会誌16部, 講演要旨4部
	大分大会剰余金	0	160,619	160,619	
	前年度繰越	1,877,136	1,877,136	0	
	合計	3,163,136	3,060,605	▲ 102,531	

支出	2018年度大分大会関係費	30,000	0	▲ 30,000	剰余金のみ
	2019年度大会費	100,000	0	▲ 100,000	
	2020年度大会費	30,000	0	▲ 30,000	
	歴史地震34号印刷・送料代	675,000	604,776	▲ 70,224	410部, 振込料648円込
	同編集費	25,000	0	▲ 25,000	
	HP管理費	60,000	21,267	▲ 38,733	振込料216円込
	会議費	300,000	79,120	▲ 220,880	
	功績賞関連費	100,000	105,596	5,596	振込料216円込
	歴史地震アーカイブ費	50,000	0	▲ 50,000	
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	21,347	▲ 8,653	
	合計	1,400,000	832,106	▲ 567,894	

次年度繰越金	1,763,136	2,228,499	465,363	
--------	-----------	-----------	---------	--

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第 16 条第 1 項および付則第 2 条に基づき、幹事会の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第 16 条第 3 項および付則第 3 条に基づき、幹事会として現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。

第四号議案 会則の改正

これまでも会費滞納者への督促や会員特典停止の対応、長期滞納を理由とした除名処分について手続きをおこなってきたが、これを会則に明記すべきと考え歴史地震研究会会則第2章を次のように改めたい。

現行	改正案
<p>第2章 会 員 (会 員)</p> <p>第8条 本会は次に定める会員からなる。</p> <p>(1) 会 員 本会の目的に賛同する個人</p> <p>第9条 会員は付則に定める年会費を、各年度始めに納入しなければならない。</p> <p>(会員の特典)</p> <p>第10条 遅滞なく会費を納めている会員は、次の特典を有する。</p> <p>(1) 会誌の配布を受けること</p> <p>(2) 研究発表会において、研究成果を発表すること</p> <p>(3) 会誌へ論文などを投稿すること</p> <p>(4) 総会に出席し、表決権を行使すること</p> <p>(5) 総会または幹事会に対して議論すべき事項を提案すること</p> <p>(入 会)</p> <p>第11条 会員になろうとするものは、所定の申し込み書を会長に提出し、幹事会の承認を得なければならない。</p> <p>(退 会)</p> <p>第12条 退会しようとする会員は、会長に退会届を提出しなければならない。この場合、未納会費がある時は、それを全納しなければならない。</p>	<p>第2章 会 員</p> <p>(第8～10条変更なし)</p> <p>(会費滞納者の処遇)</p> <p>第11条 第9条に従わずに会費納入を遅滞している会員は、第10条に定める会員の特典を停止される。さらに次年度の会費の納入も行わない場合は除名となる。</p> <p>(入 会)</p> <p>第12条 (番号のみ変更)</p> <p>(退 会)</p> <p>第13条 退会しようとする会員は、会長に所定の退会届を提出し、幹事会の承認を得たうえで退会が認められる。退会希望会員に未納会費がある時は、退会前にそれを全納しなければならない。</p> <p>(休 会)</p> <p>第14条 海外への留学や赴任、病氣療養、出産育児などにより、本会の活動に参加することが難しくなった場合、会員は休会することが出来る。</p> <p>(1) 休会を申請する場合は、休会の申請と理由を会</p>

<p>(入退会時期)</p> <p>第 13 条 会員の入退会は、事業年度を単位とする。</p> <p>(除 名)</p> <p>第 14 条 本会の会員として著しく不適切な行為があったと判断されたものは、幹事会の議を経て、会長はこれを除名することができる。</p>	<p>長に提出しなければならない。</p> <p>(2) 健康上の理由などで手続きが難しい場合は、幹事会の議を経て当該会員を休会とすることができる。</p> <p>(3) 休会中は会費の納入は免除され、第 10 条に定める会員の特典は停止される。</p> <p>(4) 復会する場合は、復会の申請を会長に提出し、幹事会の承認を得て、復会しようとする年度の会費を納入せねばならない。</p> <p>(入退会および休復会の時期)</p> <p>第 15 条 会員の入退会および休復会は、事業年度を単位とする。</p> <p>(除 名)</p> <p>第 16 条 本会の会員として著しく不適切な行為があったと判断されたもの、長期にわたって連絡がつかないもの、第 11 条に該当するものなどは、幹事会の議を経て、会長はこれを除名することができる。除名となった場合、滞納分の会費を全額納入せねばならない。</p> <p>※条文の追加により以降の条番号は適宜振り直される。</p> <p>※改正された場合、改正日が明記される</p>
---	---

第五号議案 2019 年度事業計画および予算案

1. 2019 年度事業計画案

2019 年度（2019 年 8 月～2020 年 7 月）は、以下の事業を行う計画である。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 第36回歴史地震研究会（徳島大会）の開催

以下の第36回歴史地震研究会（徳島大会）を開催中である。

主催：歴史地震研究会

会場：徳島大学地域連携プラザ地域連携大ホール

日程：2019 年 9 月 21 日（土）～23 日（月・祝）

21 日：研究会・公開講演会

22 日：研究会・総会・懇親会

23 日：研究会・巡検

② 第 37 回歴史地震研究会の開催準備

以下の要領で第 37 回歴史地震研究会を開催するために必要な準備を行う。

会場：三重県伊賀市・ハイトピア伊賀（仮予約中）

日程：2020 年 9 月 19 日（土）～22 日（火・祝）

公開講演会、研究発表会、懇親会、総会、巡検

③ 第 38 回歴史地震研究会の開催準備

第 38 回歴史地震研究会を開催するための候補地選定および日程調整などの準備を行う。

(2) 会誌の刊行

会誌『歴史地震』第 35 号を 2020 年 7 月末頃に発行する。このため、第 36 回歴史地震研究会での発表に基づく論文を中心に募集する。第 35 回以前の歴史地震研究会での発表に基づく論文や、未発表原稿についても募集を行う。編集作業は編集規定に沿って行う。冊子版は高解像度モノクロで印刷することを基本とするので、投稿者はこのことを意識して投稿願いたい。冊子版に高解像度のカラー図を載せたい場合は口絵として掲載する。ただし別途費用が発生する。また、ウェブ版はカラーでの掲載が可能であるが解像度を 150 dpi に落とし、基本的に出版日から半年程度経ってから研究会のホームページにて閲覧可能となる。『歴史地震』第 35 号の原稿の締め切り日は 2019 年 11 月 30 日（土）である。原稿と投稿シートを histeq@histeq.jp まで送付願いたい。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、歴史地震研究会ホームページと連絡用メーリングリストの運営・管理を行う。また、メーリングリスト *musha* についても運営・管理を行う。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する。

(5) その他

上述の各項に関して、適切な審議を行うため、2019年9月22日(日)の総会および監査役を招いた年間5回程度の幹事会を開催する。

2. 2019年度予算案

2019年度(2019年8月~2020年7月)の予算案は次表のとおり。

歴史地震研究会 2019年度 予算案

項目		金額	内訳
収入	2019年度会費	988,000	4000円×247名(266名-19名)
	前年度繰越	2,228,499	
	合計	3,216,499	
支出	2019年度徳島大会関係費	50,000	
	次年度以降大会準備費	50,000	
	歴史地震35号印刷・発送代	656,000	1600円×410部
	同編集費	25,000	査読料, 編集補助謝金等
	HP管理費	20,000	
	会議費	200,000	
	功績賞関連費	100,000	
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	
	合計	1,131,000	
次年度繰越金		2,085,499	

説明資料

(1) 2017 年度会計監査報告書

歴史地震研究会


会長松浦律子様


2018 年度会計監査報告書

歴史地震研究会 2018 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常適正に処理されていることを確認いたしました。ここにご報告いたします。

以上

2019 年 8 月 7 日

会計監査 中村 稔 

会計監査 植行 富 

(2) 会員の現況及び会費受取状況

昨年の総会で報告された会員数 310 名から 2 名が退会し、2018 年度には以下に示す新規入会者 11 名と退会者 8 名があった。さらに 2018 年度会費の滞納によって会員特典を停止された 45 名を減ざると、2018 年度末の会員数は 266 名となる。

また 2018 年度会費は 274 名からの受取があり、これは 2018 年度末に会費納入義務のある会員 319 名の約 86% に相当する。

会員の現況

2017年度末会員数	308名(昨年総会報告310名から2名退会)
2018年度末会員数	266名
増減	-42名

会員数増減の内訳

■新規入会者:11名

福士沙織	津田健一	佐藤善輝
坂井誠仁	牧山隆洋	栗本享宥
佐々木淳	岡村吉彦	石瀬素子
金子浩之	近藤 斎	(敬称略, 入会順)

■退会者:8名

川崎一朗	河本尋子	清水雅樹
高山正久	大山剛弘	神田克久
山田 勉	藤井光男	(敬称略, 退会順)

■会費滞納につき会員特典停止:45名

会費受取状況

2018年度会費	274名(会員319名の86%)
2019年度会費	19名
2020年度会費	1名
2018年度会費未納	45名

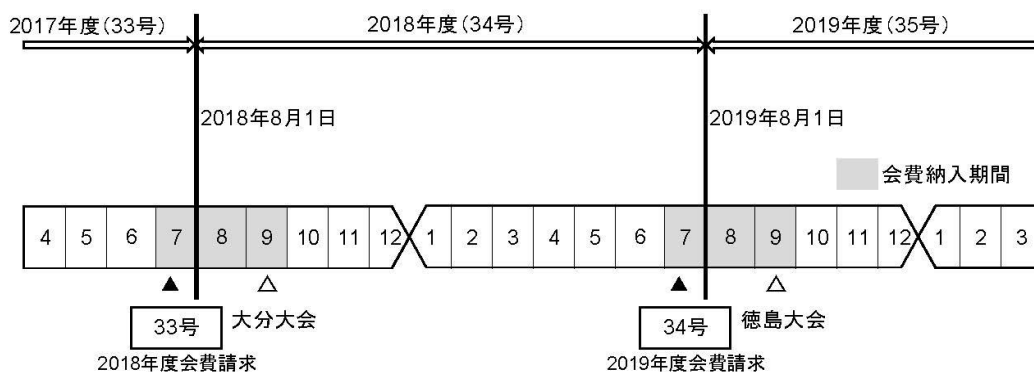


図1 歴史地震研究会の会計年度と年会費の納入期間

(3) 2018 年大分大会の収支報告

2018 年大分大会（2018 年 9 月 22～25 日）の収支概要を次表に示す。

2018年大分大会収支報告

項目		金額	内訳
収入	参加費(会員)	142,000	2000円×71名
	同上(非会員)	72,000	4000円×16名+2000円×4名
	懇親会会費(一般)	275,000	5000円×55名
	同上(学生)	10,000	2500円×4名
	巡検参加費	195,000	5000円×39名
	合計	694,000	

支出	大会会場費 ^{注1)}	27,630	設備利用料
	予稿集印刷費	70,416	120部, 消費税5184円・振込手数料432円込
	懇親会費	228,000	4000円×57名, 消費税込
	巡検代金	192,397	交通費・昼食代・保険料・拝観料・巡検講師謝金
	文具代	9,031	レールファイル・VGAケーブル他
	雑費	5,907	宅配便代
	合計	533,381	

収支差額		160,619	剰余金
------	--	---------	-----

注1) 大会会場費はこの他に2016年度分(80208円)と2017年度分(16812円)の合計97020円が支出済